

ご挨拶

彩企業年金基金

理事長 北林 辰哉

(株式会社 丸一)



事業主さま及び加入者の皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より当基金の事業運営に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

184日間にわたり世界中の人々の注目を集めた大阪・関西万博が、10月13日をもって幕を閉じました。世界158の国と地域が参加したパビリオンでは、体験を通じて環境問題やテクノロジー等様々なテーマに向き合える工夫がされており、今後の社会の在り方を自然に考えさせられる貴重な機会であると感じました。今回の万博をきっかけに、より良い未来社会が実現することに期待しております。

内閣府の発表によりますと、国内景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心みられるものの、緩やかに回復しており、先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要があります。

当基金といたしましては、皆さまの給付を守り、老後の生活を支えられるよう、より一層健全な運用と運営に努めてまいる所存でございます。

さて、7月16日に開催された第25回代議員会にて、2024年度決算等の審議事項にあたり承認をいただきました。設立以後順調な運営を維持できましたことも、偏に事業主さま、加入者さまの温かい御厚情の賜物と深く御礼申し上げます。

当基金は今後も事業所さまの更なる発展とそこで働く皆さまの老後の安心を支える企業年金を目指し、事務局一同、いっそう業務に邁進する所存です。